

第6回 能代市バスケの街づくり推進委員会

日 時 令和3年8月2日（月）

午後7時

場 所 能代市役所会議室9・10

次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 委員長挨拶

4 アドバイザー及び市職員の紹介

5 協 議

（1）昨年度の振り返り

（2）新計画の策定及びスケジュールについて

（3）その他

6 閉 会

能代市バスケの街づくり推進委員会設置要綱

平成23年6月1日
能代市告示第90号

(設置)

第1条 本市のバスケの街づくりを推進するため、能代市バスケの街づくり推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) バスケの街づくりに関する基本計画の策定について市と協働で検討し、その結果を市長に提言すること。
- (2) バスケの街づくりに関する基本計画の点検及び推進を市と協働で行うこと。

(組織及び委員の任期)

第3条 推進委員会は、委員30人以内をもって組織する。

2 委員は、バスケの街づくりに取り組んでいる者若しくは取り組もうとする者又は関係団体等の推薦による者のうちから、市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年以内とし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第4条 推進委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、推進委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 推進委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

(分科会)

第6条 推進委員会は、必要があるときは、分科会を設けることができる。

2 分科会は、委員長の指名する委員をもって構成する。

3 分科会に分科会長及び副分科会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 分科会長は、分科会における協議の経過及び結果を推進委員会に報告する。

5 副分科会長は、分科会長を補佐し、分科会長に事故があるとき、又は分科会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(運営グループ会議)

第7条 推進委員会は、会議の運営に関して協議するため、運営グループ会議を設けることができる。

2 運営グループ会議は、委員長、副委員長、分科会長及び副分科会長をもって構成

し、委員長が会務を総理する。

3 運営グループ会議の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

(費用弁償)

第8条 委員が会議に出席した場合は、費用弁償として、能代市職員等の旅費に関する条例(平成18年能代市条例第38号)に規定する5級に相当する額を支給する。

(庶務)

第9条 推進委員会の庶務は、企画部市民活力推進課において処理する。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成23年6月1日から施行する。

(バスケの街のしろ推進懇談会要綱の廃止)

2 バスケの街のしろ推進懇談会要綱(平成18年能代市告示第9号)は、廃止する。

附 則

この告示は、平成24年6月1日から施行する。

能代市バスケの街づくり推進委員会委員（令和3年8月）

No.	氏名	年代	性別	主な所属団体等	備考	再・新
1	大塚 和敬	40代	男	志考会	まちづくり関係 (H30-R1委員長)	再
2	佐々木亜希子	40代	女	NPO法人ミライ10	まちづくり関係 (H30-R1副委員長)	再
3	塚本 浩平	30代	男	松雲堂	商業関係 (H26-27、H30-R1副委員長)	再
4	成田 圭一郎	30代	男	一般社団法人 能代青年会議所	まちづくり関係	新
5	山田 雄子	30代	女	特定非営利活動法人能代観光協会	商業関係 (H24-H29副委員長)	再
6	高橋 英章	40代	男	NPO法人能代市体育協会	競技関係	再
7	佐々木 公平	30代	男	能代商工会議所 青年部	まちづくり関係	再
8	柴田 悌	30代	男	東能代地区まちづくり協議会	まちづくり関係	新
9	湊 哲一	40代	男	秋田県銘木青年会	まちづくり関係	新
10	工藤 央弥	30代	男	能代市山本郡中学校体育連盟	競技関係	新
11	笠原 優樹	30代	男	能代市山本郡バスケットボール協会 U12部会	競技関係	新
12	中山 悟	50代	男	能代金融懇談会 (秋田銀行能代支店支店長)	商業関係	新
13	高梨 直樹	40代	男	能代市柳町商店街振興組合 (イオン能代店支店長)	商業関係	新
14	野口 亮太	20代	男	公募委員（道の駅ニツ井副支配人）	まちづくり関係	再
15	小笠原 聖子	30代	女	N style（公募委員）	競技関係	再
16	石井 一生	40代	男	12月21日はバスケットボールの日！委員会（公募委員）	まちづくり関係 (H24-29委員長)	再
17	小松 元	40代	男	秋田県立能代科学技術高等学校	競技関係（R3.8.2～）	新

【任期】 令和2年6月29日～令和4年3月31日

能代市バスケットの街づくり推進委員会 アドバイザー名簿

職	氏名	備考
慶應義塾大学 総合政策学部 非常勤講師 (嘉悦大学 経営経済学部 准教授)	岩月 基洋	

能代市バスケットの街づくり推進委員会 オブザーバー名簿

職	氏名	備考
能代市地域おこし協力隊員 (観光担当)	花下 哲	
能代市地域おこし協力隊員 (バスケットの街づくり担当)	千勝 数馬	
能代市地域おこし協力隊員 (バスケットの街づくり担当)	新田 聡	

能代市バスケットの街づくり推進委員会 関係各課名簿

職	氏名	備考
生涯学習・スポーツ振興課	赤塚 悟	
商工労働課中心市街地活性化室長	堀口 誠	
市民活力推進課長	三熊 仁	事務局
市民活力推進課 地域づくり支援係 係長	藤田 広樹	事務局
市民活力推進課 バスケットの街づくり推進担当 主席主査	小林 直樹	事務局
市民活力推進課 地域づくり支援係 主事	中山 侑士	事務局
(連絡先)		
〒016-8501 秋田県能代市上町1-3		
能代市 企画部 市民活力推進課 バスケットの街づくり推進担当		
電話 0185-89-2148 FAX 0185-89-1770		
E-mail katsuryoku@city.noshiro.lg.jp		

令和2年度の経過について

時期等	場所	主な協議内容等
令和2年6月29日	能代市役所 会議室9・10	【第1回推進委員会】 ・委嘱状を委員へ交付しました。 ・委員長と副委員長を選任し、推進委員の役割とスケジュールを確認しました。
令和2年7月27日	能代市役所 会議室9・10	【第2回推進委員会】 ・分科会を設置しました（街づくり、ミュージアム、アカデミー（競技）） ・分科会の会長、副会長を選任し分科会での活動を確認しました。
令和2年9月8日	Web会議	街づくり分科会
令和2年9月25日	バスケミュージアム	ミュージアム分科会
令和2年9月25日	書面会議	アカデミー（競技）分科会
令和2年9月25日	能代市役所 会議室9・10	【第3回推進委員会】 ・分科会で協議した課題や検討事項について報告してもらいました。 ・現計画の検証について、委員へ評価シートを送信し、重要度評価や実現度評価を行い次期計画へつなげることにしました。
令和2年11月20日	Web会議	街づくり分科会
令和2年11月24日	バスケミュージアム	ミュージアム分科会
令和2年11月30日	能代市役所 会議室9・10	【第4回推進委員会】 ・評価シートを集計した重要度や実現度の評価点数結果を報告しました。 ・各分科会から計画全体について検証を行い意見を提出してもらうことにしました。
令和2年12月19日	書面会議	アカデミー（競技）分科会
令和2年12月21日	バスケミュージアム	ミュージアム分科会
令和3年2月17日	能代市役所 会議室9・10	【第5回推進委員会】 ・各分科会からの検証意見について報告しました。 ・チャレンジ事業補助金の評価についてアンケート調査を行うことにしました。

「能代市バスケの街づくり推進計画」の検証について

能代市バスケの街づくり推進計画の体系図

○街づくりのゴール 10年後の姿「バスケでみんなが元気になれる街」

(1)本物のバスケに触れられること

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	○バスケ資料の保存と活用を図る 能代工業高校バスケットボール部の歴史の保存を図るとともに、バスケの街の知名度を活かして、日本のバスケ資料の収集と活用を図ります。	→ バスケ資料館を設置し、バスケの殿堂への展開を目指す	委員	平均値
			重要度評価	4.29
			実現度評価	3.82
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・統合により能代工業高校がなくなってしまうが、ファンが多くいると思うので、ミュージアム等を活用して資料保存すべき。
- ・能代工業高校バスケ部の資料もまだまだたくさんあるため、更に大きな資料展示施設への更新を目指すべき（浄城西小の空き教室スペース等）
- ・これまでの能代工業バスケ部の勝利の歴史を残すことはバスケの街能代として重要なプロセスである。
- ・推進委員会の中でも度々話をしていたのが資料館としながらもスペースが狭いため展示できずに眠っているものがあると言っていた。現在、移転をしてスペースの確保もできているため、充実した魅せれる館内にしていけたらと思う。
- ・最重要課題。先人の偉業に対する敬意を形にして残し、伝えねばならない。物品の収集・集積はバスケミュージアムにて行われているが、これを読み解き解説する作業が必要。博物館や美術館における学芸員のような立場の人材を登用し、編纂を行っていくなどの対応が必要。

△【提案や検討的な意見】△

- ・博物館的な施設ではなく、交流人口の増加に資するようなものにすべき
- ・歴史・資料収集、保存していくことは最重要だと思うが、展示している内容に偏りがあり限定されすぎているように感じられ公の資料館（観光スポット）としては魅力が低い。委員会でも外部から「保存」するもの「展示」するのを分けて事業を推進してはどうか。
- ・バスケミュージアムは定期的な資料追加や入替、レイアウト変更の検討は必要かと思う。
- ・バスケットボールをやったことがある人なら必ず一度は訪れたいというような殿堂を作るとともに、それにふさわしいストーリーも作る必要がある。能代カップを甲子園のような存在へ昇華させる努力も必要となる。
- ・バスケの資料展示会の開催、またバスケミュージアムの移転に伴い資料の整理が進んではいないが完全ではない、このまま作業を続けて、完了させるべきである。また、資料を誰もが気軽に見れる様な工夫、改良を行う必要がある
- ・バスケミュージアムの設置は行えたが、十分な活用と効果は見られない。さらなる機能強化と、魅力の整理、情報の発信による集客が必要。しっかりした戦略を立て中長期的なビジョンを持ち、企画運営をしていく必要がある。
- ・バスケミュージアムとは別に資料保存のための資料館を作る
- ・たくさんの貴重な展示品を保有していることから、資料館的な役割のあるバスケ施設は必要と思います。バスケミュージアムはあるものの、展示方法やお客さんの誘導、SNSなどの活用が不十分と感じます。

②	<p>○能代カップの安定的な運営を図る 第4の全国大会として定着してきた能代カップ高校選抜バスケットボール大会の安定的な運営を図るため、運営に関わる団体やボランティアの確保に努めます。</p> <p>→ 能代カップの運営に関わる多くの団体やボランティアの定着を目指す</p>	委員	平均値
		重要度評価	4.00
		実現度評価	3.40
		達成・未達成	
		継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・ボランティアスタッフとなることが名誉となるような能代カップの存在価値を上げる努力を展開していく必要がある。
- ・運営について、関わっていないため評価ができませんが継続して頑張してほしい。
- ・バスケの街能代を定着させた基本となるイベント。全国各地で行われているカップ戦ともやはり一段異なる存在。高校生大会であることから、商業化を良しとしない声もあり、また商業化してもいうまいくとはかぎらない。大会開催については、底上げのための資金的な援助の強化と同時に、大会周辺での相乗効果を促すことも必要。

△【提案や検討的な意見】△

- ・年々減少しているボランティアの活動をもっと増やす必要がある。また、ボランティアの意義を広く市民に告知し、気軽にボランティアに参加できる状況をつくる
- ・能代カップの運営に関わることに価値を生み出せば定着に近づけるのではないか（特典「〇年開催記念Tシャツ（スタッフT兼用）」プレゼント、大会ポスタープレゼント等）
- ・コロナ禍の中では、実施方法の検討が必要。
- ・能代カップの運営には更なるボランティアの確保が必要。
- ・能代山本地区のミニバスチームも能代カップと同時に大会等を開催してはどうか
- ・協会や能代工業がゲームの質を確保し競技の部分を運営し、屋台等については協会ではなく、別組織で行ってもらうのがいい。入場者を増やすということであれば、アカデミーや中学校、ミニバス等、高校の参加チームを減らし、様々な試合を組み入れて、誘客を図ることも一つではないか

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・深くかかわったことがないので、評価できない。
- ・これまでバスケの街づくりが進んでこなかった要因として、能代工業高校と能代カップを中心に考えてきたことだと思っている。能代工業高校が全国大会での結果を出せなくなったいま、能代カップ自体のあり方を再考する必要があるのではないか。統合校になるタイミングで能代カップ自体の廃止を含めた議論が必要だと考える。また、高校バスケを核に街づくりを考えること自体から脱却していかなければ、街づくりには繋がっていかないことは、この8年で明確になったと思っている。

③	<p>○プロバスケ等のゲーム等を誘致・支援する 秋田ノーザンハピネッツのbjリーグをはじめ、JBLやWJBLのゲーム、車椅子バスケットボール日本代表チームの強化合宿等の誘致・支援を行います。</p> <p>→ 秋田ノーザンハピネッツホームゲーム等を誘致・支援する</p>	委員	平均値
		重要度評価	3.59
		実現度評価	3.47
		達成・未達成	
		継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・プロや代表チームを多く誘致できればと思う。
- ・集客力はあるのもっと活かしていければ。
- ・プロバスケ等のゲーム、合宿誘致は、今後もより力を入れていくべき。空調設備等の環境整備も含め検討すべき課題も解決していく必要がある。
- ・実施側としてもバスケの街能代は活用できるはず。ハピネッツ、車椅子に続いて多くのゲームを誘致してほしい。

△【提案や検討的な意見】△

- ・誘致の効果を検証する必要がある
- ・誘致するべきかと思うが、コロナ禍においては、実施方法に検討が必要。
- ・能代山本地区のミニバスチームを対象としたクリニック、指導者向けの講習会等の開催

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・まだまだ目標達成に至っていないと感じる。すべての大会において「バスケの聖地能代」となるようなストーリー作りと各種大会の積極的な誘致や支援が必要。ただし、ハピネッツは営利企業であるため、そこまで積極的に利用する必要はない。
- ・秋田ノーザンハピネッツのリーグなどのゲームを誘致するメリットが感じられない

④	○地元チームを応援・支援する 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツをはじめとする地元チームについて、パブリックビューイングや自動販売機設置など、さまざまな形で応援・支援を行います。	→ 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツ等の地元チームを応援・支援する	委員	平均値
			重要度評価	4.12
			実現度評価	3.12
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・能代工業高校バスケット部を応援・支援する為のパブリックビューイングや募金などのサポートは継続して行う意義はある
 - ・パブリックビューイングには多くの市民が集まったとのことだったので継続して市民の意識を高めていけたらと思う。
- 以前、工業のバスケット部や先生方にアドバイスをもらいながら作成したバスケノートがあったがそれらを活用して選手の目に見える形で応援できれば選手の後押しへも繋がると思う。（巡回バスをラッピングバスにするなど）

△【提案や検討的な意見】△

- ・能代工業バスケット部にお米以外の支援ができないか（おかずや捕食等）
- ・何をもち「応援」とするのか
- ・継続となった場合、科学技術高校がその対象となるのか。
- ・プロチーム参加の育成チーム等を能代市に誘致または設置を検討してはどうか。1社1選手雇用するなど市民一丸で支え応援できるチームが、今後、能代がバスケのまちであり続けるためには必要ではないか。
- ・毎度のパブリックビューイングを開催し、応援コミュニティを創っていくなど、地元のバスケ好きを育てていけないだろうか。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・応援、支援している姿がよくわからない。
- ・そもそも能代市民で応援している人が少ないように思われる。バスケアカデミーや3×3チームなどを強力にバックアップして活躍させることにより自然と市民が興味を持ち応援していく事につながっていくのではないかと考える。
- ・関わる団体および個人が少ないからか、バスケの試合があってもあまり盛り上がっている感を感じない。

⑤	○バスケクリニック等を開催する 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハピネッツ等を行使として、ミニバスチームを中心にバスケクリニック等を開催します。	→	ミニバスチーム等へのバスケクリニック等を開催する	委員	平均値
				重要度評価	4.00
				実現度評価	3.65
				達成・未達成	
				継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- これからの世代へのアプローチは必要不可欠と考える。
- 結果を出し、評価されバスケ人口が増えるのがベスト。結果が出るまで継続してほしい。
- 開催はしているので達成。継続していくことで重要度を上げていくべき。
- たくさんの関係者が参加して地域にも経済効果もあるため継続して取り組んでほしい。
- アカデミー開設の実現は大変評価できる。これからの少子化時代の児童生徒たちの受け皿として期待が出来る。アカデミーの安定的運営に向け、人材や財政的な課題整理と継続的運営に向けた仕組みづくりが必要。
- アカデミーに期待。

△【提案や検討的な意見】△

- U15クラブチームとの連携も可能だと思う。
- ミニバスのクリニックは他地域に比べて充実しているがどの程度役立っているか未知数。「能代」ならではのクリニックを計画すべきでは。
- 現在はバスケアカデミーに注力すべきと考える。バスケアカデミーの見学会のイベントとしてクリニックを行えばよいのではないかと考える。
- 小学生向けに、バスケクリニックを開催するのは子供たちにもっとバスケを身近に感じてもらう、バスケを好きになってもらう為にも意義はある。この場合、講師は他県の強豪バスケットチームや実際にスポーツ医療などを行っている医療チームなどを招聘して行うのがいいのではないか？
- クリニックをやるならできるだけ協力する人(能代山本地区の指導者)をスタッフとして開催する
- 選手育成は重要課題。教える側にも必要。ハピネッツによるクリニック以外にも、民間のスキルコーチを招くなど、多くの指導者を受け入れる取り組みはどうだろうか。近年は元プロ選手による教室も各地で開催されており、ゲストと呼ぶシリーズがあっても良いのではないか。

⑥	○指導者等の育成を図る 専門機関等との連携を図りながら、定期的な講習会を開催するなど、指導者や審判員等の育成を図ります。	→ 指導者や審判員等の定期的な講習会を開催する	委員	平均値
			重要度評価	3.88
			実現度評価	2.57
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・講習会は必要。
- ・携わっていないため評価ができないのですが、まずは指導者がいないと育成もできないと思うのでバスケの街としてつなげていくためにも継続して開催してほしい。
- ・U12,U15の指導者向けのマンツーマン講習会を開催する
- ・関わる人のレベルアップに必要。JBAによる取り組みがあるので、そちらへの参加を促し支援するような仕組みを整えると良いのではないかな。

△【提案や検討的な意見】△

- ・ミニバスから高校までの一貫性のある指導が必要であり、アカデミーは研鑽の場としても有効であり、能代山本の関係者に広く知って頂きたい。
- ・現在はバスケアカデミーに注力すべきと考える。バスケアカデミーの見学会のイベントとしてクリニックを行えばよいのではないかと考える。
- ・能代市は工業高校バスケットボール部OBを中心に優秀な指導者を多数輩出している。人的資源のさらなる有効活用が望まれる。全国の指導者を対象に、スキルアップの為にプログラム構築や研修合宿などを、秋田大学教育学部等と連携して行ったらどうか。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・目的意識が薄い活動だと思う。
- ・必要性が現状わからない。
- ・アカデミー、もしくは体育協会が先導すべきだと思う
- ・「どういう指導者が必要か」「どういう審判員が必要か」等、長期的なビジョンを持つことでもっと明確になるのではないかな。ただ講習会等を開催すればいいということではないと思う。

(2) バスケで誰でも集えること

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	<p>○バスケファンやバスケ関係者が集える場を設ける 市内や県内のバスケファンやバスケ関係者をはじめ、全国のバスケファンやバスケ関係者が交流できるよう集える場を設けます。</p> <p>→ バスケファンやバスケ関係者が集える場を設置し、継続する</p>	委員	平均値
		重要度評価	3.71
		実現度評価	2.76
		達成・未達成	
		継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・バスケミュージアムの発展目標として、バスケ好きが自然と集まってバスケ談義をしたり、3×3を行ったりする施設、(1)①の聖地化、ストーリー作りの一端を担う場所として必要。
- ・意見交換会も開催し、ファンにはバスケミュージアムでハピネッツ選手の握手会なども開催されていたので今後も継続して行っていけたらいいと思う。
- ・街づくりの核となるような、バスケの街のアイコンとしての施設が必要。バスケミュージアムを機能強化し、実現させる必要がある。
- ・バスケミュージアムが集える場所だと思う。内容の充実を求む。

△【提案や検討的な意見】△

- ・バスケミュージアムにカフェ機能や交流できる空間があればいいのではないか。
- ・バスケミュージアムが誰でも気軽にバスケに触れ、集える場所になっていない。改善が必要
- ・そういった場があるのは理想。全国、全世界的にそういった場があるのかの調査を行い、形を模索するところからスタートしないといけない。場は物理的なものとは限らないのではないか？

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・どこへ行けばいいかわからない
- ・企画自体は悪くないが、コロナ禍において実施が難しいと思う。
- ・必要かもしれないが、市民が共に集えなければ意味がない。

②	○バスケット関係の企画・イベントを行う バスケットの街づくり機運を高めるため、誰でも参加できるフリースロー競争やバスケット関係のコンテスト、交流会等の企画・イベントを行います。また、バスケット色になるような「バスケットの日」等の設定とイベント等の開催をめざします。	バスケットに関する企画・イベントを行う「バスケットの日」等に合わせたイベント等の定着を目指す	委員	平均値
			重要度評価	3.71
			実現度評価	2.71
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・バスケットに関するイベントの実施はしてきており、企画も試行錯誤して地元の方をまきこんだ内容もありよかった。定着させることが今後の課題になってくると思う。
- ・市民へのバスケット定着を目指すためにも、チャレンジデーにドリブルやフリースローを行うなど、行政も積極的に関与してバスケットの推進をする必要がある。

△【提案や検討的な意見】△

- ・競技に関連するイベントの他に、多ジャンルにバスケットを掛け合わせたイベントができればより幅広い層を集客できるのではないかと。（例：eスポーツ等）
- ・ニーズを把握し、対象を絞ることを検討してもよいのでは。
- ・市役所がプラスアルファで後押しする形で、各イベントとコラボしたり、コラボできやすい環境にしてみるのはいかがでしょうか。
- ・重要だとは思いますが、形が見えていない。検討が必要
- ・イベントを行いたい主催者に対して支援する枠組み・制度があると良い。バスケットの日については「能代では続けている」姿勢が重要。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・「バスケットの日」というのを初めて知った
- ・そもそもバスケットの日に合わせてイベントを行う必要があるのか？検証が必要である。それ以外ののしろカップ等イベントがある中で、バスケットの日にあわせたイベントを行うより、のしろカップなどの既存のイベントに集中し、盛り上げることがメリットは大きいのではないかとと思う
- ・バスケットに関する企画イベントを行うというより、総合体育館やアリナスで各種開催される大会等に合わせバスケットに関する企画イベントを実施するに変更したらどうか。また既存イベントにバスケットに関する企画イベントを実施するという考えも必要。課題としては継続的にイベントを企画運営していく実施主体をどのように構築するか。（人材、財政に課題）バスケットの日は全国的にも定着しておらず、取り組む必要はないと考える。
- ・バスケットの日が定着していないので、バスケットの日を周知させるには相当な労力がかかると思う。

③	<p>○バスケの各種大会等を開催する。 バスケットボール競技の底辺拡大や生涯スポーツ、チーム同士の交流の観点から、各種大会等を開催します。</p>	<p>バスケットボール競技の各種大会等を開催する</p>	委員	平均値
			重要度評価	4.19
			実現度評価	2.87
			達成・未達成	
			継続・除外	

△【提案や検討的な意見】△

- ・各カテゴリーごとに盛り上がる工夫が必要。
- ・協会との協力関係のもと、大会運営をしていくことで、発展的なものになっていくと考える。
- ・3×3の市民リーグを開設し、バスケの普及・浸透を図り、最終的には市民リーグからプロチームが誕生すれば理想的であるとする。
- ・のしろカップのほか、東北の強豪チームやアジアの強豪チームを招聘して交流試合を企画する
- ・各カテゴリーごとの大会の開催と、大会に対する支援の強化を行う必要がある。特にアンダーカテゴリーは少子化の影響で選手およびチームの減少が考えられる。選手の確保等、考えられる課題を早期に抽出し対策していく必要がある。新設されるイオン新能代ショッピングモールの催事場にて3×3のリーグ戦開催を働きかける。
- ・県内外からのチームをできるだけ多く呼んで大会を開催する
- ・生涯スポーツの面を支援するため、各種大会の誘致、優遇策が必要。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・「能代カップ」以外知らない。
- ・バスケの大会はあると認識しているが、生涯スポーツ、交流の観点からというのは把握できてないです。

④	○大会運営ボランティア等の確保を図る 大会運営に関わるスタッフ等の不足を解消するため、ボランティア等が参加しやすい環境づくりに努めるなど、ボランティア等の確保を図ります。	大会運営ボランティア等が参加しやすい環境づくりを行う	委員	平均値
			重要度評価	3.75
			実現度評価	2.60
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・上記③（バスケットボール競技の各種大会等を開催する）をやるなら必要。

△【提案や検討的な意見】△

- ・能代カップのような「公的であり教育」イベントであれば、ボランティアという形で「支援」という流れがしっくりくる。その他大会の種類によっては人材確保をボランティアに限定せず、イベント運営会社等に委託することも検討してもよいのではないのでしょうか。
- ・市民への周知をしっかりとすれば可能。
- ・ボランティアを集めるためにリピーターになってもらえる工夫、環境づくりを模索する必要がある。
- ・ボランティアについては、育成講座や中学生、高校生以上から参加できる仕組みをつくる必要がある。
- ・ボランティアに対する特典制度や、有償ボランティアも検討していく必要がある。
- ・有償ボランティアとして集めやすいような仕組みは作れないだろうか。資金支援、グッズの提供など。
- ・ボランティアが参加できる仕組みづくり、ターゲットを明確にすることがいいのでは。就業体験やインターンシップ等と組みあわせることができればいいと思う。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・「参加しやすい」の共通認識がない。
- ・バスケがより市民に親しまれるスポーツとなれば自然とボランティアスタッフも増えると思われるため継続は不要と考える。
- ・ボランティアがどのくらいいるのか把握できてないです。すいません。

⑤	○体育施設等の活用を図る バスケットボール競技の練習ができる環境を確保するため、体育施設や学校施設の活用を図ります。また、学校統合等による既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討します。	体育施設や学校施設の活用を図りながら、既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討する	委員	平均値
			重要度評価	4.24
			実現度評価	3.09
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・場所を求めている個人・団体も多いと思う。
- ・検討の必要性は高い。
- ・現状でもそれなりに施設は揃っているが、バスケの聖地化を目指すうえでもバスケに特化した専用コートは必要と考える。
- ・JR東能代駅徒歩3分の立地である、東中跡地に5,000収容のバスケ専用アリーナを核としたバスケに特化した複合施設を建築。
ハピネットのメインアリーナとして活用。JRと連携し大会時はハピネット電車を走らせる。能代工業のコネクションを活かしナイキのアウトレットショップも誘致する。バスケミュージアム等やコンベンションホール等の機能も付加する。東能代駅周辺をバスケの街のしろの新たな拠点地域として再開発を行っていく。

△【提案や検討的な意見】△

- ・市内の小中学校体育館の環境づくりが必要。正規のコートを整備する必要がある。借りやすくする環境づくりも必要ではないか。
- ・閉校した学校を活用すべき
- ・総合体育館・アリーナをもっと利用しやすいようにしていく。
- ・バスケットボールの推進のための、料金的な優遇はあって良いと思う。

×【否定的な意見】×

- ・総合体育館脇の駐車場のコートはそれなのか？使われなくなった学校も多くなってきている。見直すことが必要ではないか。

(3) バスケットで地域が潤えること

【方向・取組】

【10年後の目標】

<p>① ○合宿や大会の誘致を図る 能代山本スポーツリゾートセンター「アリーナス」、能代市総合体育館及び周辺エリアの魅力ある環境づくりを行いながら、合宿や大会の誘致を図ります。 あわせて、交流試合等をコーディネートする仕組みづくりをめざします。</p>	<p>合宿や大会を誘致する 交流試合等をコーディネートする仕組みの定着を目指す</p>	委員	平均値
		重要度評価	4.35
		実現度評価	2.87
		達成・未達成	
		継続・除外	
<p>○【推進すべきとの意見】○ ・(1)③（プロバスケット等の誘致支援）に同じ より積極的な誘致・サポートが必要ではないか。 ・サマーキャンプや大学チームの合宿など、増えてきているが、さらに支援があれば増えていくはず。</p> <p>△【提案や検討的な意見】△ ・コロナ禍においては、宿泊施設との連携も必要。 ・能代市体育協会と合宿誘致や交流試合をコーディネートしていくのが最良となるのではないか。 ・合宿の誘致は年々増えてはいるが、受け入れ自治体のさらなる工夫と努力が必要。また、能代だけにとどまらず、能代山本地域をその対象として、バスケットを行う環境の整備だけでなく、食、静かな自然の環境をもっとアピールすべき ・アカデミーのカテゴリー拡充を行い、平日日中のバスケットボールでの施設利用を促進する。アカデミー主催で各カテゴリーの大会を運営実施できる体制の構築を目指す。またアリーナスがアカデミーの運営母体となるなど、アカデミースタッフを雇用出来る形態を検討していく。 ・独自のコーディネーター育成が必要なのでは？ ・ホテル大原や能代市内の空き家を下宿や短期的な宿泊などに使えるようにするといいいのでは。能代工業高校や能代松陽高校も含め下宿等に使える施設を増やすことで、合宿等にも気軽に使えるようになるのでは。</p> <p>×【見直しが必要ではとの意見】× ・「仕組み」ができていないのかわからない。受皿を周知する必要がさらに必要。</p>			

②	○企画・イベント等にバスケットを組み入れ誘客を図る 各種企画・イベント等にバスケットの要素を組み入れることで、能代の独自性を高め、誘客を図ります。	→ 各種企画・イベント等にバスケットの要素を組み入れる	委員	平均値
			重要度評価	3.65
			実現度評価	2.65
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・当委員会のみならず、他の団体・特に観光分野との連携が不可欠。
- ・バスケットの街をPRする目的で最も近道だと思いますが、そのためにいまの「コアなバスケットの街の魅力」を「万人受けするバスケットの街の魅力」に変換することが最優先。順番を間違えると「実施したが効果がなかった」という結果で終わりそうで勿体ない。
- ・市のイベントで横の連携が図れれば良いと思います。
- ・継続し、力を入れていったほうが良いと思う。
- ・商店街やまちづくりイベントと共同企画はありだと思う。

△【提案や検討的な意見】△

- ・市役所がプラスアルファで後押しする形で、各イベントとコラボしたり、コラボしやすい環境にしてみるのはいかがでしょうか。
- ・簡単に設置できるシュートコーナーを各イベントで設置して子どもだけでなく大人も体験していくため、家族で参加できるイベントに組み入れていけたら誘客も図れると思う。
- ・フリースローチャレンジ等、競技者以外を対象にした取り組みや考え方が必要。またプロ選手を誘致し技術披露して頂くような、ショー的要素をもった企画も有効ではないか（例えば、能代七夕天空の不夜城参加するハビネッツ選手が、運行前にストリートでダンクや3ポイントを見せる等）購入した3×3のコートを活用し、複数の既存イベントの会場で、3×3のリーグ戦を実施してみてはどうか
- ・3×3のチームを立ち上げようとしていた人などの協力を得ながら、イベントに組み込んでいければいいのではないか。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・他の部分に注力しなければならないと考えるため不要。
- ・回にでもバスケットをくっつける方法が確立されていない、またチャレンジしても成果が出ていない感じがある。そもそも必要があるだろうか？

③	<p>○バスケット関連のグッズや食を開発・販売する バスケットの街をPRできるようなバスケット関連の多様な グッズや食を開発し、大会やイベント等に合わせた 販売やネット販売も行い、そのPRに努めます。</p> <p>→ バスケット関連のグッズや食の能代名物としての 定着をめざす</p>	委員	平均値
		重要度評価	3.65
		実現度評価	2.71
		達成・未達成	
		継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・継続して、名物になるようなものができればいい。
- ・地元のお店で取り組んでいるのでコラボとしてはいいかもしれない。
- ・あれば楽しい。これは、バスケットの街が盛り上がれば自然に出てくるものだと考えています。

△【提案や検討的な意見】△

- ・「NOSHIRO」が印字されているTシャツだけでも、県外の人には魅力的に見える。色々なデザイン等で販売に向けるのもいいのではないかな。
- ・なかなか商品開発へと進められずにきた。大会やイベントに合わせた取り組みを今後、分科会の中で一つでも開発できればと思う。
- ・美郷町がモンベルと提携しモンベルショップを開設したように、能代もナイキと提携しナイキのアウトレットショップを開設
 また工業団地にナイキの用品の工場を誘致するなど、企業と連携した取り組みが必要。ハピネットのグッズ専門店をバスケットミュージアムのミュージアムショップに設置する。
 また能代工業出身のプロ選手のグッズも合わせて取り扱う。
- ・統一したブランディングと誰でも使えて「核」となるものが必要ではないか。「NOSHIRO」は能代工業だけではなく、能代市内の全チームが使えるもので、全チームが使えるようになるといいのでは。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・現在何があるかもわからない。誰にPRし、誰に買ってもらうのか再検討の必要がある。
- ・商品を作る仕組みよりも売れるしぐさを先に作らないと事業者はうまみを感じない。
- ・ある程度はグッズや菓子なども作られており、現状では十分と考える。今後バスケットが盛り上がれば自然発生的にグッズなどは民間企業が企画すると思われるため不要。
- ・今の運営体制での開発販売は難しいと思う。

④	<p>〇グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりを進める</p> <p>バスケット関連グッズ等に統一したキャラクターやロゴマークを用いるなど、ライセンス管理の仕組みづくりをめざすとともに、商品の収益等をバスケットの街づくりに還元する手法についても検討します。</p>	→	<p>グッズ等のライセンス管理で商品の収益等をバスケットの街づくりに還元することを目指す</p>	委員	平均値
				重要度評価	3.35
				実現度評価	2.44
				達成・未達成	
				継続・除外	

△【提案や検討的な意見】△

- ・「能代工業」のブランド的な商標権が得られるといいかも。
- ・「NOSHIRO」が印字されているTシャツだけでも、県外の人には魅力的に見える。色々なデザイン等で販売に向けるのもいいのではないか。
- ・統一したブランディングと誰でも使えて「核」となるものが必要ではないか。「NOSHIRO」は能代工業だけではなく、能代市内の全チームが使えるもので、全チームが使えるようになるといいのでは。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・収益の還元は必要だが、何を作って、誰が、誰に、どこで売ってもらうのか整理する必要がある。
- ・③同様にロゴマーク使用の価値を作ることが優先なのではないか。
- ・現状では不要と考える。今後バスケットが盛り上がりを見せた際に検討すれば良いので現状では不要。
- ・ライセンス料を払ってまで、バスケットの街を利用するメリットが感じられない。
- ・これは、正直なところ失敗感が強いです。当初はくまモンのような活用を目指していたはず。刷新しても良い。
- ・今の運営体制でライセンス管理は難しいと思う。

(4) バスケが街なかで感じられること

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	<p>○バスケットに関する拠点を設け情報発信を図る バスケに関する拠点を設け、さまざまな情報の集約を行いながら、電子媒体を中心にさまざまな手法で情報の発信を図ります。</p> <p>→ バスケに関する恒常的な拠点を確立し、情報の発信を行う</p>	委員	平均値
		重要度評価	4.35
		実現度評価	3.35
		達成・未達成	
		継続・除外	
<p>○【推進すべきとの意見】○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットミュージアムの移転後できているように思う。 ・バスケットミュージアムがセンター的な役割を果たしてほしい。 ・能代工業高校バスケット部の資料もまだたくさんあるため、更に大きな資料展示施設への更新を目指すべき（湊城西小の空き教室スペース等） ・バスケットミュージアムの発展目標として、バスケット好きが自然と集まってバスケット談義をしたり、3×3を行ったりする施設、(1)①の聖地化、ストーリー作りの一端を担う場所として必要。 ・バスケットミュージアムが拠点となるようにしてほしい。 ・バスケットミュージアムが拠点に当たる。今より内容の充実を求む。 <p>△【提案や検討的な意見】△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信するための魅力の整理が必要。電子媒体の構築に対し、あきた白神ツーリズムの様にコンサル含め大手へ依頼することも考える必要がある。施設の作り方は、増田のまんが美術館が参考になる。委員会で視察に行き共有したらどうか。 ・バスケットミュージアムからの情報発信について、ジャンルを分ける・絞るなどの工夫が必要。高校バスケットの全国レベルのものに絞るなど。また発信者の労力についてケアされていない気がする。 			

②	○構造物等へバスケットを組み入れる 構造物へバスケットのデザインなどを組み入れること で、街なかでのバスケットの雰囲気を広げます。	→ 構造物等へのバスケットの組み入れでバスケット色の街の景観をめざす	委員	平均値
			重要度評価	3.71
			実現度評価	3.18
			達成・未達成	
			継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ・街灯等は好評だと聞いている。
- ・継続したほうがよい。
- ・柳町にある商店の壁を利用してのバスケットアートはよかった。ただ、壁のうえのほうに描かれていたので壁をバックに写真を撮れるようにできればと思った。
- ・街灯、マンホール、リング設置等を行う。
- ・街灯など、もっと増やしても良い。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・国道の街灯しか思いつかない。一色には違和感がある。
- ・現状で必要十分。
- ・街づくりの観点と違うような気がする。バスケット色の街の景観のイメージを提示してもらいたい。プレーヤーが集う街になるために必要な要素は、プレーする場所、用品を買う場所、文化に触れられる場所、パブリックビュー出来る場所等ではないか。このような施設が集まれば、おのずとバスケットの街の景観は整っていくのではないか
- ・能代には木都、宇宙、バスケットなど様々なコンテンツがあるので、バスケット色の街の景観づくりには違和感があります。

③	○バスケロードへの展開を図る 試行的に実施した「バスケ名言ストリート」をさらに発展させ、バスケロードとなるよう展開を図ります。また、渋谷のバスケットボールストリートとの連携をめざします。	→ バスケロードの定着を目指す	委員	平均値
			重要度評価	3.00
			実現度評価	1.94
			達成・未達成	
			継続・除外	

△【提案や検討的な意見】△

- ・場所の工夫が必要。
- ・他の観光資源を取り込んだ、観光案内ルートになっても良いのでは。
- ・駅からという考えと車で来能するひとと分けて考えてもいいのでは。工業の歴史をつなぐために、道のところどころに歴代の能代カップの選手や各能代工業の年代の碑を各所に設置し、県外から来た人へPRしてはどうか。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- ・よく理解できない。
- ・他の部分に注力する必要があり、現時点では不要と考える。
- ・バスケロードを作ったからといって、バスケの街のしろがもりあがるとは思えない。のしろ市民へのメリットが感じられない
- ・関係者の間でしかバスケロードが定着していない。
- ・能代駅～畠町～柳町～能代工業をバスケロードとして設定しても、地域住民や地域事業者が乗ってこない。観光客がJR能代駅から商店街を歩く前提の計画だが、能代市への観光客の大多数は車であり、仮説自体が間違っていた。例えば、東中跡地にバスケ複合施設等を建築するようなことがあれば、JR東能代駅から複合施設までの区間をバスケロードとして整備してみるなど、人の往来が見込める前提で計画する必要がある。
- ・駅前～能代工業高校のバスケロードは定着しなかった。別の形で再定義する、
- ・バスケロードの存在を知らませんでした。渋谷のバスケットボールストリートの状況を考えても連携ということに対するメリットも無いと思います。

④	○ストリートバスケの環境整備を図る 屋外に設置しているリングの活用を図りながら、 イベント開催を含め、街なかでストリートバスケが できる環境の整備をめざします。	→	屋外リングの活用を図りながら、街なかでス トリートバスケができる環境の整備を目指す	委員	平均値
				重要度評価	3.76
				実現度評価	2.63
				達成・未達成	
				継続・除外	

○【推進すべきとの意見】○

- ゆくゆくはマップ的なものができるといいかも
- 3×3普及の為に可搬式のコートを積極的に活用する必要があると考える。
- 20年以上昔の方が屋外の環境が整っていたと思う。駅前や市役所駐車場脇に場所を整備していくべきではないか。

△【提案や検討的な意見】△

- 屋外リングを誰が管理するのか。他部署との連携も視野に入れる必要がある。
- 地域特性的に通年使用可能な屋内施設への設置が望ましい。人が多数集まる商業施設等への設置を検討すべき。屋外リンクは中心市街地の既存コート（市民プール隣地）の活用を検討する必要がある。以前おなごりフェスティバルの日中イベントで行ったような、歩行者天国でのストリートバスケも検討する。
- これは場所と資金の問題だけだと思います。誰がやるかです。
- 街なかでのストリートバスケは能代ならではの、そして中心地の活性化に一役買う事業だと思うが、今現在どこにも無い？
- 屋外リングは市内にあると思うが、どこにあるかを市がPRしない。マップや何かを作って、リングのある公園がどこにあるかをもっと市民向けに出すべき。

×【見直しが必要ではとの意見】×

- あちこちにあるがポロポロ
- 街なかでバスケができる街＝バスケで活性化する街⇒ではない

(1)～(4) 共通

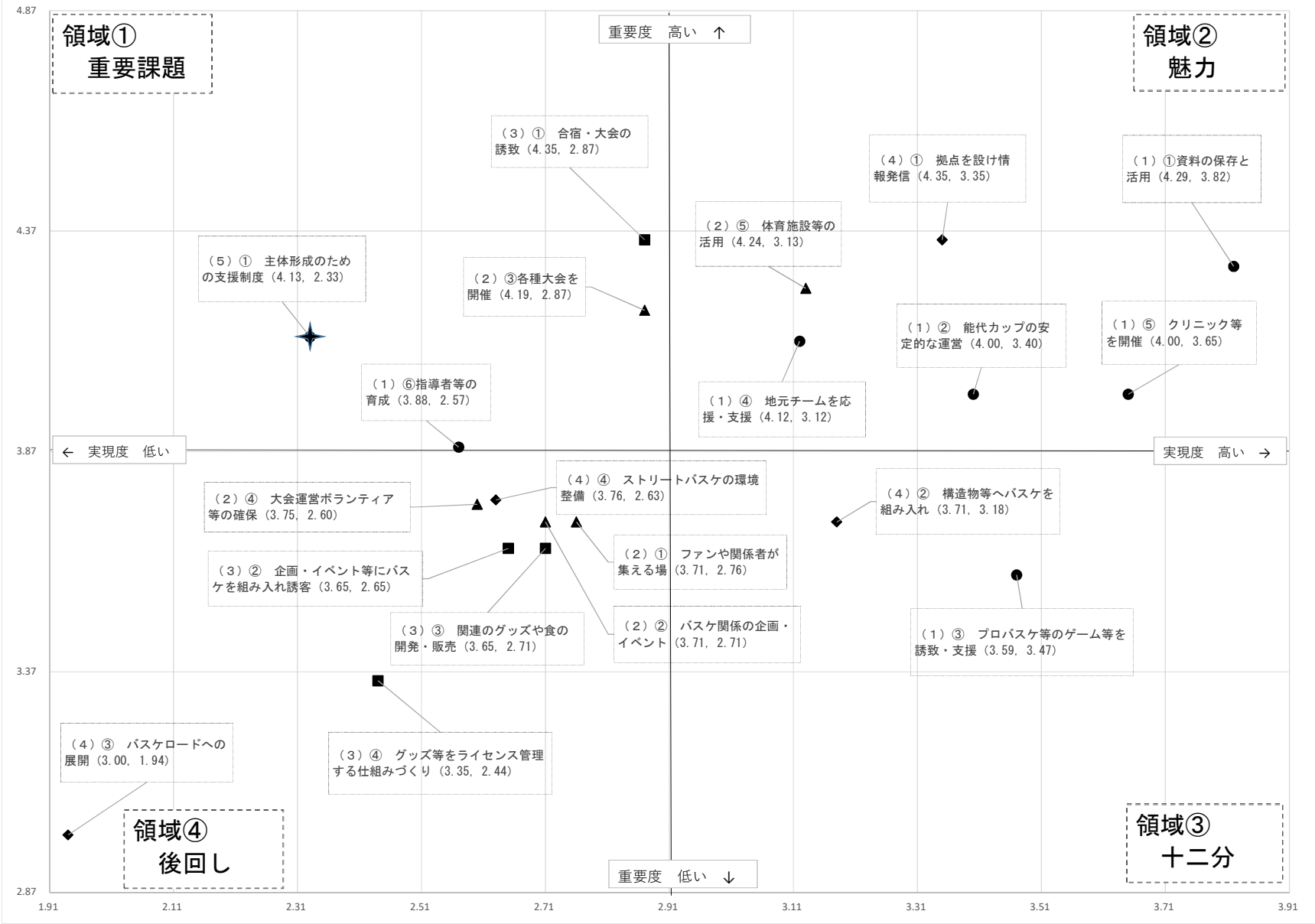
【方向・取組】

【10年後の目標】

		委員	平均値
①	<p>○街づくり主体形成のための支援制度を設ける バスケットの街づくりへ広く民間等の参画を図るため、実施主体形成のための支援制度を設けます。また、募金等を含め、バスケットの街づくりに関する基金の設置を検討します。</p> <p>→ 募金等を含めた支援制度の確立をめざす</p>	重要度評価	4.13
		実現度評価	2.33
		達成・未達成	
		継続・除外	
<p>○【推進すべきとの意見】○</p> <ul style="list-style-type: none"> 各方面から支援は必要。 都度検討していければと思う。 支援制度は重要だがバスケットが普及しているとは言えない現状ではなかなか難しいとも思うが、支援制度は継続していく必要があると考える。 <p>△【提案や検討的な意見】△</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金の流れ、還流の仕組みを共有する必要がある。 募金等に頼らず自ら資金を生むことはできないか。（バスケットミュージアムで委託販売を行い、販売手数料を資金とする…等） バスケットの街づくり自体が漠然としており、市民の参画のイメージがつかめないのではないか。例えばバスケットの街の核となるものとして、チームなり施設なりがあれば、それを中心に参画のイメージを作れるのではないか 今のバスケットの街づくりに参加するには、主体としては負担が大きく、見返りもさほど得られない感じがある。チャレンジ事業補助金よりも大きな、長期的な事業が可能になるような枠組みを検討すべき段階ではないか。 <p>×【見直しが必要ではとの意見】×</p> <ul style="list-style-type: none"> 募金の存在を知りませんでした。市の補助事業は10/10補助なのでとても魅力的ですがその存在の認知度が薄いと感じます。 			

項目	重要度	実現度	重要度順位	実現度順位	方向・取組
					→ 10年後（令和3年度まで）の目標
(1)①	4.29	3.82	3	1	バスケの資料の保存と活用を図る → バスケ資料館を設置し、バスケ殿堂への展開を目指す
(1)②	4.00	3.40	8	4	能代カップの安定的な運営を図る → 能代カップの運営にかかわる多くの団体やボランティアの定着を目指す
(1)③	3.59	3.47	18	3	プロバスケ等のゲーム等を誘致・支援する → 秋田ノーザンハビネッツホームゲーム等を誘致・支援する
(1)④	4.12	3.12	7	8	地元チームを応援・支援する → 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハビネッツ等の地元チームを応援・支援する
(1)⑤	4.00	3.65	8	2	バスケクリニック等を開催する。 → ミニバスチーム等へのバスケクリニック等を開催する
(1)⑥	3.88	2.57	10	17	指導者等の育成を図る。 → 指導者や審判員等の定期的な講習会を開催する
(2)①	3.71	2.76	13	11	バスケファンやバスケ関係者が集える場を設ける → バスケファンやバスケ関係者が集える場を設置し、継続する
(2)②	3.71	2.71	13	12	バスケ関係の企画・イベントを行う → バスケに関する企画・イベントを行う。「バスケの日」等に合わせたイベント等の定着を目指す
(2)③	4.19	2.87	5	9	バスケの各種大会等を開催する → バスケットボール競技の各種大会等を開催する
(2)④	3.75	2.60	12	16	大会運営ボランティア等の確保を図る → 大会運営ボランティア等が参加しやすい環境づくりを行う
(2)⑤	4.24	3.13	4	7	体育施設等の活用を図る → 体育施設や学校施設の活用を図りながら、既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討する
(3)①	4.35	2.87	1	9	合宿や大会の誘致を図る → 合宿や大会を誘致する。交流試合等をコーディネートする仕組みの定着を目指す
(3)②	3.65	2.65	16	14	企画・イベント等にバスケを組み入れ誘客を図る → 各種企画・イベント等にバスケの要素を組み入れる
(3)③	3.65	2.71	16	12	バスケ関連のグッズや食を開発・販売する → バスケ関連のグッズや食の能代名物としての定着をめざす
(3)④	3.35	2.44	19	18	グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりを進める → グッズ等のライセンス管理で商品の収益等をバスケの街づくりに還元することを目指す
(4)①	4.35	3.35	1	5	バスケに関する拠点を設け情報発信をする → バスケに関する恒常的な拠点を確立し、情報の発信を行う
(4)②	3.71	3.18	13	6	構造物等へバスケを組み入れる → 構造物へのバスケの組み入れでバスケ一色の街の景観をめざす
(4)③	3.00	1.94	20	20	バスケロードへの展開を図る → バスケロードの定着を目指す
(4)④	3.76	2.63	11	15	ストリートバスケの環境整備を図る → 屋外リングの活用を図りながら、街なかでストリートバスケができる環境の整備を目指す
(5)①	4.13	2.33	6	19	街づくり主体形成のための支援制度を設ける → 募金等を含めた支援制度の確立をめざす

バスケの街づくり推進計画の取組に対する重要度・実現度評価の散布図



バスケットの街づくり新計画の策定作業の進め方について

1. 計画策定の方針

計画の策定にあたっては、今年度開催する「能代市バスケットの街づくり推進委員会」での協議を踏まえて策定します。会議では昨年度から推進委員会で協議・検証してきた内容に、新たな視点や方向性を加えながら協議を進めます。

協議にあたっては、慶應義塾大学SFC研究所の調査内容や各種資料を参考とします。

2. 計画の構成イメージ

計画の名称

(仮称) 能代市バスケットの街づくり推進計画

計画の期間

令和4年度から概ね5年の計画期間

計画の構成

① 目指す姿・目標

→ 「バスケットの街 能代」が目指す地域の姿

② 必須となる取組項目

→ バスケットの街づくりを推進するにあたり、取り組むべき必要な項目

③ 取組の可能性のある項目

→ バスケットの街づくりを推進するにあたり、有効な取組と考える項目

3. 委員の役割

バスケットの街づくり推進委員会の所掌事項として、バスケットの街づくりに関する基本計画の策定について市と協働で検討すること。また、基本計画の点検及び推進を市と協働で行うこととなっています。

(推進委員会設置要綱より)

委員の任期は令和4年3月31日までとなっており、17名の委員で構成されています。令和3年度は主に計画策定の検討が委員の役割となります。

4. 作業の進め方について

(1) 意見提案シートの作成

各分科会はそれぞれのテーマに沿った検討を行いますが、より多くの意見を共有するため、会議の前に委員から「意見提案シート」の作成・提出をしていただきます。

シートへの意見は提出してもらうことで、会議に出席できなかった委員の意見も把握することが可能となりますので、「意見提案シート」は委員全員からの提出をお願いいたします。

（２）協議の手順

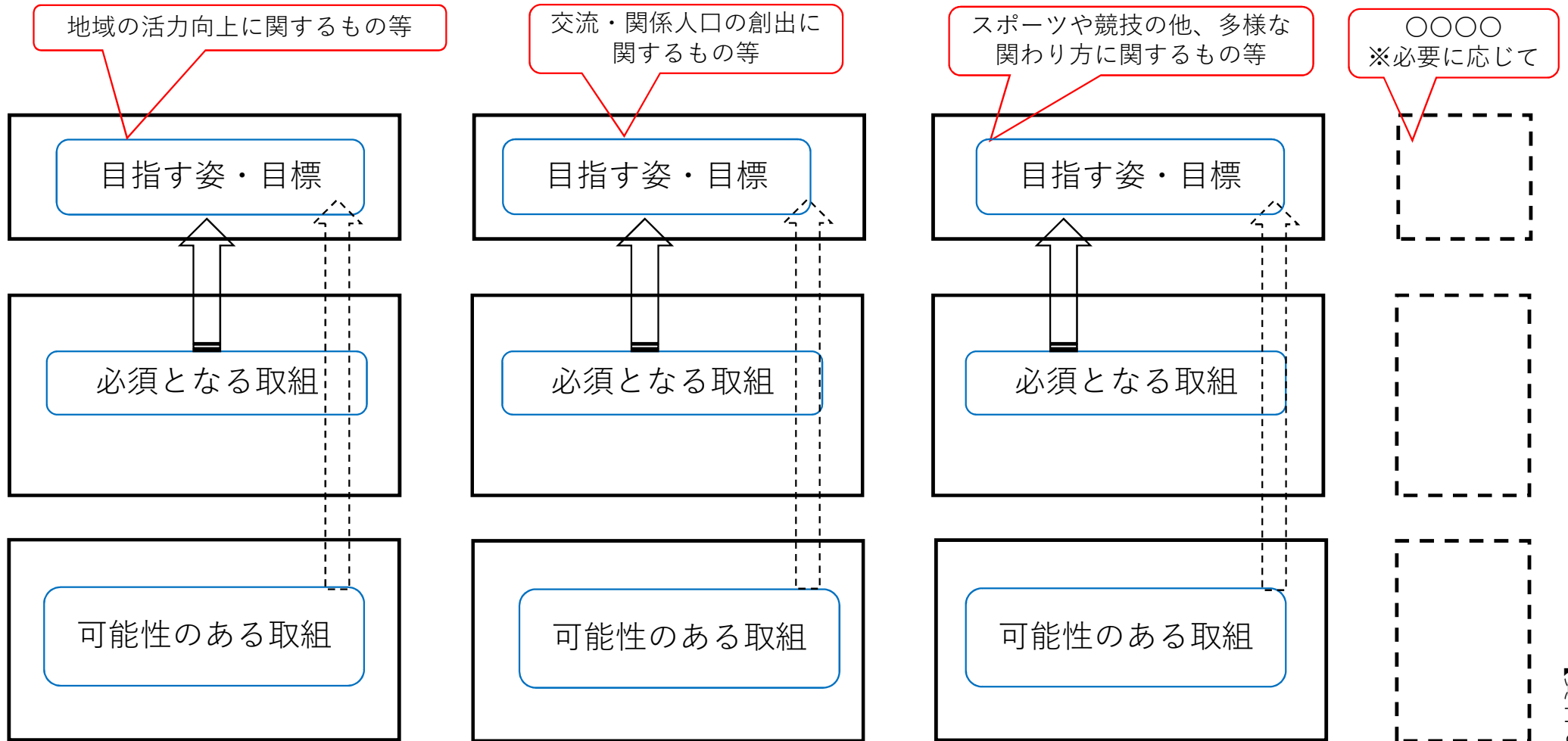
「意見提案シート」を事務局で各分科会に振り分けます。分科会ではワークショップ等により提出された意見について、協議・検討をしていただきます。分科会は８月下旬に合同開催を予定しており、その後の分科会は必要に応じて随時開催していただきます。

分科会を終えた後の第２回推進委員会では、各分科会の検討結果を報告していただきます。

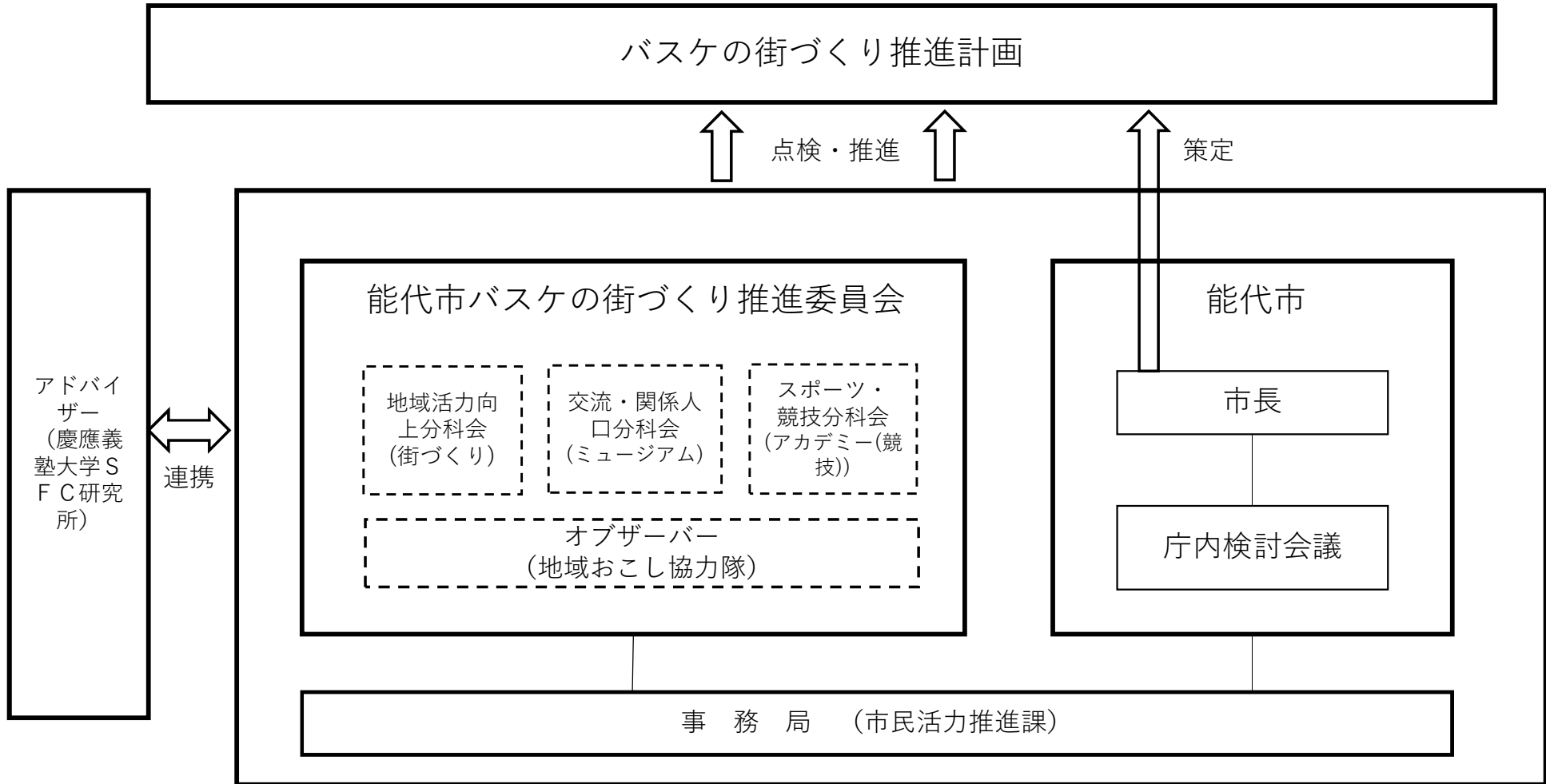
第３回と第４回推進委員会では計画素案の協議を行い、第５回推進委員会にはパブリックコメントの報告や素案の修正等を予定しています。

なお、策定の進捗状況によりスケジュールは変更する場合があります。

(仮称) バスケットの街づくり推進計画の体系イメージ図



バスケットの街づくり計画策定体制



能代市バスケの街づくり推進委員会分科会名簿

地域活力分科会（街づくり分科会）

◎主に地域内に視点を向けた検討を行います

No.	氏名	主な所属団体等
1	大塚 和敬	志考会
2	佐々木亜希子	NPO法人ミライ10
3	佐々木 公平	能代商工会議所 青年部
4	柴田 悌	東能代地区まちづくり協議会
5	成田 圭一郎	建設業能代山本建北会
6	中山 悟	能代金融懇談会（秋田銀行能代支店支店長）
7	新田 聡	地域おこし協力隊員（バスケの街づくり担当）
8	藤田 広樹	市民活力推進課

交流・関係人口分科会（バスケミュージアム分科会）

◎主に地域外へ視点を向けた検討を行います

No.	氏名	主な所属団体等
1	山田 雄子	特定非営利活動法人能代観光協会
2	塚本 浩平	松雲堂
3	野口 亮太	公募委員（道の駅ニツ井副支配人）
4	高梨 直樹	能代市柳町商店街振興組合（イオン能代店支店長）
5	湊 哲一	秋田県銘木青年会
6	花下 哲	地域おこし協力隊員（観光担当）
7	中山 侑士	市民活力推進課

スポーツ・競技分科会（アカデミー（競技）分科会）

◎主にスポーツや競技での視点での検討を行います

No.	氏名	主な所属団体等
1	高橋 英章	NPO法人能代市体育協会
2	工藤 央弥	能代市山本郡中学校体育連盟
3	笠原 優樹	能代市山本郡バスケットボール協会 U12部会
4	石井 一生	12月21日はバスケットボールの日！委員会（公募委員）
5	小笠原 聖子	N style（公募委員）
6	小松 元	秋田県立能代科学術高等学校
7	千勝 数馬	地域おこし協力隊員（バスケの街づくり担当）
8	小林 直樹	市民活力推進課

バスケの街づくり新計画策定に向けた意見提案シート

委員氏名 (_____)

バスケの街づくりを進めるにあたり 大切な視点や新たな取組を中心に、ご意見・提案を記入してください。

意見提案は所属する分科会に関する事に限らず、幅広く様々な意見を記入してください。

また、取組においては以下の視点・方向性も含めて検討をお願いします。

- ・競技のみではない多様なバスケットボールへの関わり方
- ・シティセールス・プロモーション（市の売り込み・魅力発信）によるイメージアップを図る。

(1) 【目指す姿・目標】

「バスケの街 能代」が目指す地域の姿として、どのようなことが考えられますか。
(例：～が実現している街、～がある街 等)

箇条書き、キーワードなど、いくつでも結構ですので、ご記入ください。

(2) 【必須となる取組】

バスケの街づくりを推進するにあたり、必要な取組はどのような事があると考えますか。

①必要となる取組 ②取組を行う実施主体 ③取組のねらい、についてご記入ください。

項目はいくつでも結構ですので、ご記入ください。

(3)【可能性のある取組】

バスケの街づくりを推進するにあたり、どのような取組が有効と考えますか。考えられる取組について記入ください。

①有効と考える取組 ②取組を行う実施主体 ③取組のねらい、についてご記入ください。

項目はいくつでも結構ですので、ご記入ください。

能代市市民活力推進課 行き

(FAX : 0185-89-1770、E-mail:katsuryoku@city.noshiro.lg.jp)

欄が足りなければ、枚数を増やすか、別紙でも結構です。

8月16日(金)までにご提出くださるようお願いいたします。

「能代市バスケの街づくり推進計画」の検証について（各分科会への今年度の振り分け一覧）

項目	方向・取組 → 10年後（令和3年度まで）の目標	地域活力	交流・関係人口	スポーツ・競技
(1) ①	バスケの資料の保存と活用を図る → バスケ資料館を設置し、バスケ殿堂への展開を目指す	○	○	
(1) ②	能代カップの安定的な運営を図る → 能代カップの運営にかかわる多くの団体やボランティアの定着を目指す	○		○
(1) ③	プロバスケ等のゲーム等を誘致・支援する → 秋田ノーザンハビネッツホームゲーム等を誘致・支援する		○	○
(1) ④	地元チームを応援・支援する → 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハビネッツ等の地元チームを応援・支援する			○
(1) ⑤	バスケクリニック等を開催する。 → ミニバスチーム等へのバスケクリニック等を開催する			○
(1) ⑥	指導者等の育成を図る。 → 指導者や審判員等の定期的な講習会を開催する			○
(2) ①	バスケファンやバスケ関係者が集える場を設ける → バスケファンやバスケ関係者が集える場を設置し、継続する		○	○
(2) ②	バスケ関係の企画・イベントを行う → バスケに関する企画・イベントを行う。「バスケの日」等に合わせたイベント等の定着を目指す	○	○	
(2) ③	バスケの各種大会等を開催する → バスケットボール競技の各種大会等を開催する		○	○
(2) ④	大会運営ボランティア等の確保を図る → 大会運営ボランティア等が参加しやすい環境づくりを行う	○		
(2) ⑤	体育施設等の活用を図る → 体育施設や学校施設の活用を図りながら、既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討する			○
(3) ①	合宿や大会の誘致を図る → 合宿や大会を誘致する。交流試合等をコーディネートする仕組みの定着を目指す	○		○
(3) ②	企画・イベント等にバスケを組み入れ誘客を図る → 各種企画・イベント等にバスケの要素を組み入れる	○	○	
(3) ③	バスケ関連のグッズや食を開発・販売する → バスケ関連のグッズや食の能代名物としての定着をめざす	○	○	
(3) ④	グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりを進める → グッズ等のライセンス管理で商品の収益等をバスケの街づくりに還元することを目指す	○		
(4) ①	バスケに関する拠点を設け情報発信をする → バスケに関する恒常的な拠点を確立し、情報の発信を行う		○	
(4) ②	構造物等へバスケを組み入れる → 構造物へのバスケの組み入れでバスケ色の街の景観をめざす	○		
(4) ③	バスケロードへの展開を図る → バスケロードの定着を目指す		○	
(4) ④	ストリートバスケの環境整備を図る → 屋外リングの活用を図りながら、街なかでストリートバスケができる環境の整備を目指す	○		○
(5) ①	街づくり主体形成のための支援制度を設ける → 募金等を含めた支援制度の確立をめざす	○	○	○

令和3年度のスケジュール

	時期等	時間	場所	主な協議内容等
第6回	8月2日(月)	19時～	能代市役所 会議室9・10	委員会の役割の確認 今後のスケジュールの確認 計画策定の手順確認
合同 分科会	8月下旬	19時～	能代市役所 会議室9・10 (予定)	各分科会内での検討
第7回	10月上旬予定		能代市役所 会議室9・10 (予定)	分科会の検討結果報告 計画の目標、取組の確認
第8回	11月予定		能代市役所 会議室9・10 (予定)	素案の協議①
第9回	12月予定		能代市役所 会議室9・10 (予定)	素案の協議②
第10回	2～3月予定		能代市役所 会議室9・10 (予定)	パブリックコメントの報告 素案の修正点について

※分科会は必要に応じて随時開催する

計画策定スケジュール（案）

月	推進委員会	庁内検討	市議会
8月	第1回推進委員会の開催(8/2) (スケジュールの確認、 新計画の策定方針の確認) 目標・取組等の意見出し (8/16まで) 合同分科会の開催 (8/末予定)	「意見・提案シート」の配布 庁内検討会議 (随時) 意見の集約 分科会へ意見を振り分け (8月20日)	
9月	分科会の開催 (9月末まで) ・目標と取組を検討・協議 ※分科会は必要に応じて随時行う	各分科会の結果を取りまとめ	9月定例会 総務企画委員会への状況報告
10月	第2回推進委員会の開催 (10月上旬) ・分科会の結果報告 ・目標、取組の確認 重点取組項目等の意見出し (10月末まで)	「意見・提案シート」の配布 意見の集約	
11月	第3回推進委員会の開催 (11月中) ・重点取組項目等の協議 ・素案の協議	計画素案の準備	
12月	第4回推進委員会の開催 (12月中)	計画(素案)の提示	12月定例会 総務企画委員会への状況報告
1月			
2月		パブリックコメント 計画(案)の決定	
3月	第5回推進委員会の開催 新計画の最終確認	新計画書の印刷・発注	3月定例会 市長説明要旨 総務企画委員会へ新計画案を説明

バスケの街づくり推進計画にて実施した事業等（平成24年度～令和2年度）

H24～R3推進計画の街づくりのゴール・取組の方向	平成24年度～令和2年度の実施した事業
(1)本物のバスケに触れられること	
①バスケの資料の保存と活用を図る	・バスケミュージアム開設（H24.5～）
②能代カップの安定的な運営を図る	・能代カップ開催補助金（S63年度～） ・高校生ボランティア・写真部ボランティアの募集（市）
	・JSPORTSとの連携によるテレビ放映開始（R1～）
③プロバスケ等のゲーム等を誘致・支援する	・秋田ノーザンハピネッツとの連携・協力に関する協定（H28）によるバスケの街づくり支援事業
	・秋田ノーザンハピネッツ能代開催補助金 ・能代バスケットボールフェスタ（能代市体育協会主催）
④地元チームを応援・支援する	・能代工業高校バスケット部寮・下宿生への玄米の支援（能代市・JA共同） ・ふるさと納税を活用した能代工業高校バスケットボール部後援会へ寄附
	・能代工業高校バスケット部他全国大会等パブリックビューイング実施 ・能代工業応援スティックバルーン・横断幕制作 ※市民チャレンジ事業
	・能代バスケットボールアカデミー開校（R2年度）※市民チャレンジ事業
⑤バスケクリニック等を開催する。	・「工業でバスケ」、「ミニバスレベルアップキャンプ」の実施
⑥指導者等の育成を図る。	・「指導者育成講習会」の実施
(2)バスケで誰でも集えること	
①バスケファンやバスケ関係者が集える場を設ける	・バスケミュージアム開設（H24.5～）
②バスケ関係者の企画・イベントを行う	・バスケの勉強会開催（H24～H26） ・能代工業バスケット部全国大会初優勝から50周年メモリアルイベント（市主催）
	・バスケの誕生会（バスケットサポーターズのしろ） ・バスケの日イベント（市主催事業H30～）
	・バスケットボール・メディア・サミット ※市民チャレンジ事業
③バスケの各種大会等を開催する	・花見大会（4月）、市制記念大会（10月）、クリスマス大会（12月）、中学校・ミニバス各種大会（能代市バスケットボール協会）
	・加藤廣志杯（10月）（能代市山本郡バスケットボール協会） ・バスケットチャレンジ、健康フリースロー大会（バスケットサポーターズのしろ）
	・ドクターズバスケットボールフェスティバル（NPO法人ミライ10） ・東雲カップ（土崎真俊） ※市民チャレンジ事業
	・Nstyle3X3（小笠原聖子） ※市民チャレンジ事業 ・ドリームカップ、車いすバスケットボールスクール（JC主催事業）
④大会運営ボランティア等の確保を図る	
⑤体育施設等の活用を図る	

(3)バスケットで地域が潤えること		
①合宿や大会の誘致を図る	・ サマーリーグの実施（能代市体育協会）	・ 車いすバスケット日本代表合宿の実施（H24～H29）H29年度以降は実施なし
②企画・イベント等にバスケットを組み入れ誘客を図る	・ 春ビア等の能代市観光協会イベントとの連携によるフリースローゲーム	・ バスケット動画コンテストの実施
	・ 東部地区子どもまつり3×3 ※市民チャレンジ事業補助金活用	
③バスケット関連のグッズや食を開発・販売する	・ 手毬り寿司セットの販売 ※市民チャレンジ事業補助金活用	・ バスケットの街PR缶バッジ制作 ※市民チャレンジ事業
	・ バスケットの街のしろユニフォーム制作 ※市民チャレンジ事業	・ 能代工業バスケットボール部応援デザインボックス（セキト）
	・ 籠球Tシャツの制作 ※市民チャレンジ事業	・ バスケットノートの制作 ※市民チャレンジ事業
④グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりを進める	・ バスケットの街のしろ 共通ロゴマーク制作（H24～）※市民チャレンジ事業	
(4)バスケットが街なかで感じられること		
①バスケットに関する拠点を設け情報発信をする	・ バスケットミュージアム開設（H24.5～）	
②構造物等へバスケットを組み入れる	・ バスケット型マンホールの設置・マンホールカード取得	・ バスケット関係者手形制作 ※市民チャレンジ事業
	・ バスケット灯籠の制作 ※市民チャレンジ事業	・ バスケットの街のしろ のぼり旗の制作 ※市民チャレンジ事業
	・ バスケットアート事業（柳町サイコロ） ※市民チャレンジ事業	・ 壁画アート事業（地域おこし協力隊 西村）※市民チャレンジ事業
③バスケットロードへの展開を図る	・ 能代バスケットロードフェスティバル（H24～H29）※市民チャレンジ事業	・ ばすけ神社（地域おこし協力隊 西村）
	・ 秋田ノーザンハピネッツアンテナショップ ※市民チャレンジ事業	
④ストリートバスケットの環境整備を図る	・ 3×3ゲームユニット購入（R2）	
(1)～(4)共通		
街づくり主体形成のための支援制度を設ける	・ バスケットの街づくり市民チャレンジ事業補助金の創設（H24.5～）	

能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業補助金 認定事業一覧

年度	No.	事業名／申請者	実施時期	新継別
H24年度	1	「バスケ・ウォーク・オブ・フェーム」製作の型どり試作品作り ／大塚満彦	～H25. 3	新規
	2	「バスケの街能代」缶バッジ製作 ／児玉 晴夫	H24. 9 ～H25. 3	新規
	3	能代バスケットロードフェスティバル ／NB L M準備会	H24. 9	新規
	4	バスケットサポーターズセット（手毬り寿司）の試作開発 ／株式会社サークス	H24. 11 ～H25. 3	新規
	5	バスケの街能代 共通ロゴ公募事業 ／柳谷 学	H25. 1 ～H25. 3	新規
H25年度	6	「バスケ版ウォーク・オブ・フェーム」製作の型どり試作品作り ／大塚満彦	H25. 11 ～H26. 3	2回目
	7	noshiro.FM 高校生FM放送プロジェクト ／noshiro.FM	H25. 8 ～H26. 3	新規
	8	第2回能代バスケットロードフェスティバル ／能代バスケットロードフェスティバル実行委員会	H25. 3	2回目
	9	畠町商店街振興組合はバスケの街能代を応援します ／能代市畠町商店街振興組合	H25. 12 ～H26. 2	新規
	10	バスケの街能代発・リサイクルグッズ製作プロジェクト ／NB L M準備会	H25. 3	新規
H26年度	11	バスケ・アート事業 ／大塚満彦	H26. 6 ～H27. 3	新規
	12	「ウォーク・オブ・フェーム」製作 ／大塚満彦	H26. 6 ～H27. 3	3回目
	13	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2014 ／N P O法人ミライ10	H27. 7	新規
	14	柳町女性会はバスケの街能代を応援します ／柳町女性会	H26. 7～10	新規
	15	能代バスケットロードフェスティバル2014 ／能代バスケットロードフェスティバル実行委員会	H27. 3	3回目
	16	「能代七夕杉っ子バスケの灯籠」製作 ／佐々木芳十三	H26. 11 ～H27. 3	新規
	17	バスケの街能代ユニフォーム制作 ／のしろ盛り上げ隊～やらねすか☆48～	H26. 7～12	新規
H27年度	18	第2回東雲カップ ／土崎真俊	H27. 7	新規
	19	N style 3×3 ／小笠原聖子	H27. 8	新規
	20	「ウォーク・オブ・フェーム」製作 ／大塚満彦	H28. 3	4回目
	21	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2015 ／N P O法人ミライ10	H27. 7	2回目
	22	能代バスケットロードフェスティバル2015 ／能代バスケットロードフェスティバル実行委員会	H27. 11	4回目
	23	お土産袋制作 ／能代中央商店会	H27. 12	新規

能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業補助金 認定事業一覧

	24	バスケ・アート事業 ／大塚満彦	H28. 3	2 回目
H28年度	25	N style 3×3 ／小笠原聖子	H28. 8. 21	2 回目
	26	壁画・シャッターアートプロジェクト ／西村武美	H28. 9～11	新規
	27	バスケットボールノート ／野口亮太	H28. 8	新規
	28	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2016 ／NPO法人ミライ10	H28. 7. 9-10	3 回目
	29	能代バスケットロードフェスティバル2016 ／能代バスケットロードフェスティバル実行委員会	H28. 10. 22	5 回目
	30	バスケットボール・メディアサミット ／石井一生	H28. 9. 3-4	新規
H29年度	31	N style 3×3 ／小笠原聖子	H29. 8. 26	3 回目
	32	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2017 ／NPO法人ミライ10	H29. 7. 8～9	4 回目
	33	能代バスケットロードフェスティバル2017 ／能代バスケットロードフェスティバル実行委員会	H29. 12. 15～24	6 回目
	34	バスケットボール・メディアサミット ／石井一生	H29. 12. 23	2 回目
	35	能代バスケットTVスタジオ ／石井一生	未実施	新規
H30年度	36	N style 3×3 ／小笠原聖子	H30. 8. 4	4 回目
	37	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2018 ／NPO法人ミライ10	H30. 7. 7～8	7 回目
R元年度	38	N style 3×3 ／小笠原聖子	R1. 8. 17	5 回目
	39	東部地区子どもまつり屋外3×3 ／東部地区子どもまつり実行委員会	R1. 7. 28	新規
	40	「バスケの街 能代」 応援スティックバルーン制作 ／花下 哲	R1. 12. 18	新規
	41	「バスケの街 能代」 応援大横断幕制作 ／花下 哲	R1. 12. 18	新規
	42	能代JC車椅子バスケットスクール ／一般社団法人能代青年会議所	R1. 11. 10	新規
	43	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2018 ／NPO法人ミライ10	R2. 1. 25 ～2. 2	新規
R2年度	44	N style 3×3 ／小笠原聖子	—	5 回目
	45	柳町3×3フェスティバル ／千勝数馬	R3. 5. 2	新規
	46	能代バスケットボールアカデミー ／能代バスケットボールアカデミー事務局	R1. 12. 18	新規
R3年度	47	「バスケの街」をテーマにした新商品開発とバスケミュージアム出張展示 ／株式会社 道の駅ふたつ	R3. 9～	新規